

●●●●● 移行措置の着実な実施 ●●●●●

教育庁指導部 義務教育指導課長 栗原 宏成

今年度のメール・マガジン「Scrum」の最終号をお届けします。4月に第65号を発行し、今回の第72号まで計8回「Scrum」を発行してまいりました。今年度の「Scrum」はいかがでしたでしょうか。

さて、小・中学校等においては、この4月から新学習指導要領の実施に向けた移行措置期間に入ります。それぞれの地区や学校においては、「特別の教科 道徳」や小学校高学年における外国語科などの新たな教育内容の充実に向け、指導方法や教材・教具の開発、評価の考え方等、準備に余念がないことと思います。

学習指導要領の改訂の度に、こうしたいわゆる「流行」の部分に注目が集まりがちですが、「不易」の部分の充実についてはいかがでしょうか。国語をはじめとした全ての教科等において、内容の変更部分だけではなく、実施学年や指導上の取扱いなどについても学校全体で共通理解を図り、全ての先生方に移行措置を確実に実施していただくことは言うまでもありません。また同時に、「育成を目指す資質・能力の三つの柱」や「社会に開かれた教育課程」、「主体的・対話的で深い学びの実現」など新学習指導要領のキーワードや、これまで各学校が蓄積してきた指導実践、子供の実態などを基に、教育課程全体を見直し改善を進めていただきたいと思います。

今後、各地区・各学校において移行措置が着実に実施される中で、新たな課題が明らかになることも想定されます。それらの解決を図るとともに、子供たちの資質・能力の向上に向け、タイムリーな情報を提供できるよう発行時期や内容の工夫などを行ってまいりますので、次年度もよろしく願いいたします。

掲載内容

- 学びを支える「スクラム」の活用
- 平成29年度「東京都小学生科学展」を開催しました。
- 小学校外国語活動・中学校外国語のDVDを配布します！
- 「特別の教科 道徳」がスタートします！
- 道徳授業地区公開講座で活用できるDVDを配布します！

東京都教育委員会ホームページが新しくなりました。

これまで「学び応援ページ」に掲載していた本通信のバックナンバーや、様々な事例集や報告書等は、トップページの「学校教育」から御覧いただくことができます。「学校教育」のページ下部にある、「教育内容」のコーナーから、各項目のページを選んでください。

なお、本通信のバックナンバーは、「学力向上」→「5 指導資料・報告書等」のページにあります。

（東京都教育委員会ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jpへメールを御送信ください。

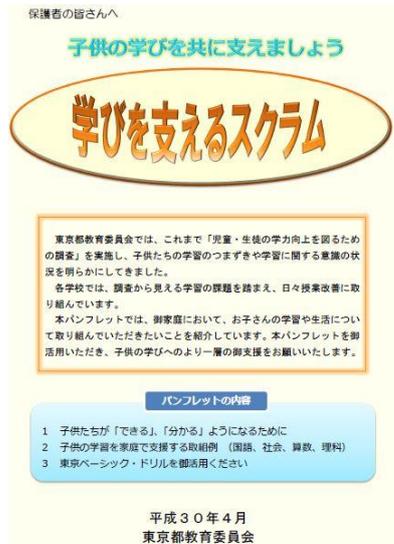
学びを支える「スクラム」の活用

■ 子供の学びを学校と家庭で連携して支えていく必要があります。

平成30年度に第5学年になる児童の保護者へ、御家庭において学習や生活について取り組んでいただきたいことを紹介したパンフレットを配布いたします。

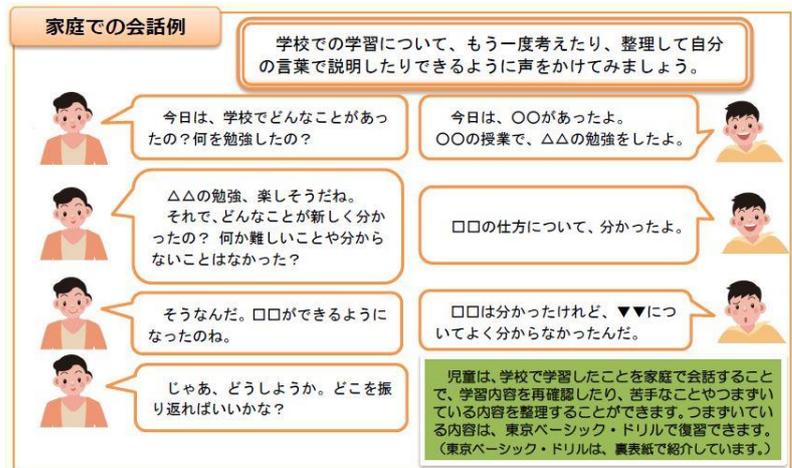
「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、授業の内容が「分かる」と回答した児童の割合は、各教科とも85%を超え、増加傾向にあります。習得目標値の問題（教科書の例題レベルの問題）の平均正答率は、それより20ポイントほど低いことが分かりました。

一方で、学習したことを振り返る活動を取り入れている学校の児童や、家の人と学校や社会の出来事について話をしている児童ほど、平均正答率が高い傾向がみられます。



■ 子供の学習を家庭で支援する取組例

- ・子供に学習内容の確実な定着を図るためには、学校や家庭において、学習した内容を振り返り復習する習慣の確立が大切です。
- ・学校では、各教科等の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり、児童が授業で学習した内容を振り返る機会を設けたりする取組の充実を図っています。
- ・家庭においても、子供が学校で学習したことを家庭で会話するように、保護者は学校での出来事や学習したことを聞いたり、学習して分かったことや難しかったことを確認したりするなどの働き掛けが大切です（右図参照）。



■ 東京ベーシック・ドリルを御活用ください。

- ・会話を通して、苦手なことやつまずいている内容が明らかになった場合には、東京ベーシック・ドリルを御活用ください。
- ・「東京ベーシック・ドリル」とは、小学校1年生から中学校1年生までの国語・算数・数学、小学校3、4年生の社会・理科、中学校1年生の英語の基礎的な学習内容及び知識を身に付けるためのドリルです。
- ・印刷して取り組む「東京ベーシック・ドリル（プリント教材）」に加えて、昨年度から、パソコンやタブレット端末等を使って問題に解答したり採点したりすることができる「東京ベーシック・ドリル（電子版）」を東京都教育委員会のホームページに掲載しました。家庭学習に是非御活用ください。



平成29年度「東京都小学生科学展」を開催しました。

東京都教育委員会では、小・中学校における理数教育の充実に向けて、様々な取組をしています。ここでは、平成29年度「東京都小学生科学展」について紹介します。

東京都小学生科学展とは

東京都小学生科学展は、全都の理数好きの小学生が、自ら決めたテーマについて深く研究した成果を展示・発表することを通して、理数についての能力を高め、理数好きの児童を更に増やすことを目的としています。

今年度の概要

- 会場 日本科学未来館（江東区青海二丁目3番6号）
- 公開期間 平成30年1月12日（金曜日）から同月15日（月曜日）まで（4日間）
※代表児童は13日（土）と14日（日）のうち、一人10分間程度の口頭発表
- 出品数 64点（各区市町村及び都立特別支援学校2校からの代表1点）
- 来場者数 2,190人



【展示の様子】

【口頭発表の様子】

表彰

審査の結果、東京都知事賞1点、東京都教育委員会賞5点を選出し、平成29年11月26日（日曜日）に、東京ビッグサイトで開催した「科学の祭典」において、中学生科学コンテスト（中学生）及び科学の甲子園東京都予選（高校生）と合わせて表彰式を行いました。



平成29年度東京都小学生科学展 東京都知事賞及び東京都教育委員会賞の受賞作品

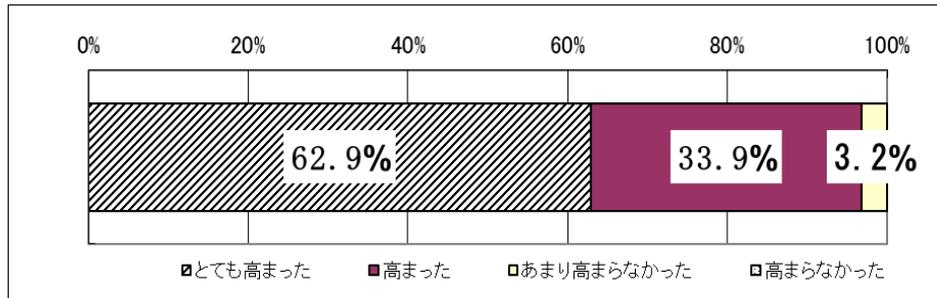
賞	学校名 学年・氏名	研究テーマ
東京都知事賞	杉並区立杉並第十小学校 第5学年 渡邊 弼子	「アオドウガネ」の研究② ～アオドウガネを森へ帰そう！！～
東京都教育委員会賞	港区立青南小学校 第6学年 伊藤 慶	切り花を長持ちさせる工夫
	品川区立大井第一小学校 第4学年 柿沼 英樹	クモの糸はどのくらい強いのか
	渋谷区立長谷戸小学校 第4学年 田中 佑	多摩川河口を大調査 「川」と「海」の境目を見つける
	府中市立四谷小学校 第6学年 永田 菜	多摩川の植物
	東大和市立第三小学校 第5学年 松田 清美	われらドクダミ調査隊2017 ～パート①どこがくさいの？なぜくさいの？～

※ 上記以外の各区市町村の代表作品につきましては、優秀賞となります。

口頭発表参加児童及び来場者の声

1 口頭発表参加児童の声

- 疑問に思ったことや、興味がわいたことを調べることは大切だということを学ぶことができました。
- 自分だけだったら考えつかなかった実験や結果について、多く知ることができて本当に良かった。
- とても緊張したけど、来年も応募したいと思いました。
- 実験って大変だなと思いました。今度は算数についても研究をしてみたいです。
- 観察や実験はこんなに楽しいことなんだと思うことができました。



口頭発表参加児童の96.8%が「科学に対する興味・関心が高くなった」と回答しています（アンケート結果から）。

2 来場者の声

- 大人でも思いつかないものや、何年もかけて行っている研究を直接見ることができて、とても有意義でした。
- 個性のある研究がとても興味深く、また子供同士の質疑応答もほほえましく楽しかったです。
- 発表している児童は皆、堂々と自信をもって発表しており、他の児童の見本となると感心しました。
- 研究の仕方、発表の仕方を知ることができ、科学展にチャレンジしたいと子供が言っています。
- 一人一人に大学の教授からのメッセージがあり励みになります。

東京都小学生科学展終了後、各区市町村の代表作品をまとめたCDを、代表児童や都内公立小学校などに配布しました。

今年度の実施に当たり、作品作成に係る支援や口頭発表の指導・助言など、保護者の皆様や学校の先生方、関係の方々に御協力いただきましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

東京都小学生科学展は来年度も実施いたします。本科学展をきっかけにして、理数好きの児童が更に増えていくことを期待しています。

各区市町村及び都立特別支援学校からの代表作品は、東京都教育委員会のホームページに掲載しています。



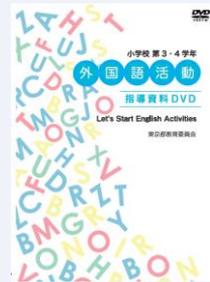
http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/content/science_exhibition2017.html

小学校外国語活動・中学校外国語の DVD を配布します！

小学校

小学校第3・4学年 Let's Start English Activities

外国語活動 指導資料 DVD



新小学校学習指導要領では、小学校第3・4学年に外国語活動が年間35時間位置付けられ、平成32年度の全面実施に向け、平成30年度から移行措置が実施されます。

東京都教育委員会では、小学校第3・4学年の外国語活動の授業が円滑に実施できるように、「小学校第3・4学年外国語活動指導資料 DVD」を作成いたしました。

「小学校第3・4学年 外国語活動 指導資料 DVD」の特長

- 新小学校学習指導要領の内容や単元・授業計画の立て方、授業の実践方法、英語の発音方法など、外国語活動の指導に関わる基礎的な知識を50分間で確認することができます。
- 新小学校学習指導要領で新たに扱う「絵本の指導」や、第3・4学年における「アルファベットの扱い方」などについて、実例を交えて紹介しています。
- 文字による説明だけではイメージがもちにくい活動（ゲームやクイズなど）を映像で確認できます。
- チャンツで楽しく英語らしい発音が学べます。

中学校

生徒の英語による パフォーマンス を高めるための指導資料



新中学校学習指導要領が平成33年度から全面実施されます。

東京都教育委員会では、先生方が新中学校学習指導要領改訂のポイントを踏まえ、生徒に英語で即興的に話す力を身に付けさせる指導とその適切な評価を進められるよう、「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料 DVD」を作成いたしました。

「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための指導資料 DVD」の特長

- 新中学校学習指導要領外国語の改訂のポイントが映像で楽しく理解できます。
- 新中学校学習指導要領で求められている「英語で外国語の授業を行う」イメージをもつことができます。
- 生徒が「即興で話す力」を身に付けるための指導例を知ることができます。
- 新中学校学習指導要領で新たに示された「話すこと[やり取り]」の領域の評価の例として、インタビュー形式のパフォーマンステストの事例を収録しています（9事例）。

「特別の教科 道徳」がスタートします！

平成 30 年 4 月から、小学校でいよいよ「特別の教科 道徳」が全面実施となります。

1 回 1 回の道徳の授業や学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育をこれまで以上に充実させ、子供たちに、生きる力の基盤となる「豊かな心」を着実に育てていきましょう。

「特別の教科 道徳」、準備はできていますか？

教科書、どう使う？

道徳の教科化に伴い、各区市町村教育委員会で採択した教科書を使用します。

教科書は「主たる教材」として**必ず使用**しなければいけません。ただし、「教科書しか使ってはいけない」、「教科書だけ使えばいい」、「教科書の目次どおりの順番に行えばいい」ということではありません。

子供たちの実態や地域の特色、ねらいとする道徳的価値などに応じて、様々な教材を開発・活用していくことも大切です。

また、同じ区市町村内の学校は同じ教科書を使用するので、先生方が同じ教材について研修したり、学校間で授業計画やワークシートなどを共有したりすることができます。

授業、どう工夫する？

「特別の教科 道徳」では、「考える道徳」、「議論する道徳」によって、道徳性を着実に育む授業を実現させることが求められています。

「考える道徳」とは、例えば、きまりを守ることの大切さや生命の尊さについて、自分に関わりのあることとしてじっくり考える場面を作ることです。

「議論する道徳」とは、例えば、思いやりとは何か、責任のある行動とはどのようなものかといったことについて、様々な意見や考えに触れることを通して自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりする場面を作ることです。

授業のねらいや教材に応じて、効果的な学習活動を工夫しましょう。

評価、どう行う？

「特別の教科 道徳」の評価は、授業における取組状況や成長の様子を見取ります。

取組状況とは、例えば、きまりを守ることの大切さについて、どのように自分のこととして真剣に考えることができていたかを見ます。

成長の様子とは、例えば、4 月から 7 月までにかけて、道徳に関する事柄についてどのようにものの見方や考え方が広がったり深まったりしたかを見ます。

ワークシートや発言の記録などを蓄積し、子供たちの成長を適正に見取り、認め励ます記述によって評価します。

何を基にどのように評価するか、学校全体・全教員で共通理解しておくことが大切です。

学校全体での取組は？

子供たちの道徳性は、1 単位時間の授業だけで育まれるものではありません。「特別の教科 道徳」を要として、各教科や特別活動など、全ての教育活動を通じて、子供たちの豊かな心を育ていくことが大切です。

そのために、例えば、国語科や社会科のどのような内容でどのような道徳性を育むことができるのか、運動会や遠足と道徳教育とがどのような観点から関連付けられるのかを明確にし、全教員が協力して実践していく必要があります。

各教科や特別活動と道徳教育との関連を明らかにし、計画的に実施していくための指針として、道徳教育全体計画の別葉を作成し全教員で共有することが効果的です。

道徳教育は、担任の先生が授業の中だけで行っていくものではありません。全ての先生が自分にできることを考え、互いに関わり合い、協力し合って、道徳教育を更に充実させていきましょう。

また、保護者や地域の方の協力も得ながら、「全ての大人たちがスクラムを組んで子供たちの心を育てる」環境を作っていきます。



道徳授業地区公開講座で活用できるDVDを配布します！

道徳授業地区公開講座の意見交換会をより一層充実させ、子供たちの豊かな心を育むために学校・家庭・地域がスクラムを組んで考えられるよう、意見交換会の導入で活用できる映像資料（DVD）を作成しました。平成30年3月末に、都内全公立小・中学校等に1枚ずつ配布します。

こんなとき、
親として、人生の先輩として
あなたなら、どうしますか？

◆◆◆DVDの内容◆◆◆

道徳教育について分かりやすく解説
「道徳」ってなんだろう？

大人たちが一緒に考えるドラマ

- ① **納得できる答えは？**
- ② **親切なことをしたのに…**
- ③ **スマホ、もっと自由に使わせて！**
- ④ **それぞれの事情**
- ⑤ **思いやりって？**
- ⑥ **なんでこんなことに…**

道徳教育とはどのようなものなのか、道徳の時間が教科になって何が変わるのか、保護者や地域の方の疑問に答える形で解説するパートです。

意見交換会を始める前に、道徳教育について理解を深め、意識を高めることができます。

子供たちや大人が直面する様々な場面を描いたドラマを6本収録しています。

どのドラマも「このようなとき、大人はどうすればよいのか」を考えさせる構成になっており、意見交換を活発にすることができます。



例：ドラマ①

納得できる答えは？

自分に正直でありたい、でも、友達との関係をこわしたくない

〈問題提起編〉(約4分30秒)

中学生の「あゆみ」は、生徒会選挙で、仲良しグループの「咲」に投票すべきか、主張に共感できる「聡史」に投票すべきか悩んでいる。聡史に投票すれば、咲に対して気まずくなる。では、聡史に投票して、咲には「咲に投票した」とウソをつくか。いや、自分に正直に聡史に投票するのであれば、正々堂々と咲にもそれを伝えて投票したい。それでもやっぱり……。思い悩むあゆみは、どうすべきか両親に相談する。

〈展開編〉(約2分30秒)

あゆみに自分が納得できる答えを見付けてほしいと願う両親。同時に、自分たちも大人の社会の中で、周囲の和を乱さないように意に反した行動を取っていたり、そんな自分自身に疑問を感じたりしていたことに気付く。親として、人生の先輩として、あゆみにどう接するか、両親もまた、悩み考える。

ドラマの構成

ドラマは前編（問題提起編）と後編（展開編）に分かれています。

『「道徳」ってなんだろう？』と併せて見る、全編を通して見る、問題提起編のみ見る、など、様々な活用ができます。

意見交換会

子供たちがこんな悩みに直面しているとき、大人にできることは何なのか、どのように子供たちに接すればよいのかを話し合ってみましょう。



道徳授業地区公開講座の活性化・意見交換会の充実

学校・家庭・地域が一体となって、子供たちの豊かな心を育みましょう